

# ニュース 玉手箱



## 落語家的子育てのススメ



三遊亭粋歌さん

柳家メ治さん

**2** 人の落語家による子育て講演と落語公演が3月21日(水・祝)に虹のプラザ多目的ホールで開催され約150人が落語を楽しみました。

これは子育ての悩みを笑い飛ばしてもらおうと「大石田で古典芸能を楽しむ会」(本間正彦代表)が開催したもので、第1部の子育て応援記念公演では落語家の柳家メ治さんと三遊亭粋歌さんが「笑う親子(ひと)には福来る」と題して、落語の師弟関係から子育てのヒントとなるエピソードを披露しました。第2部の落語公演ではメ治さんが桶屋の子どもの出世ばなし「池田大助」と「試し酒」、粋歌さんが過保護な親をテーマにした新作落語「コンビニ参観」を披露し、2人の語りやしぐさに会場は笑いの渦に包まれていました。

## 町内各地で交通安全呼びかけ

**春** の交通安全県民運動が4月6日(金)から15日(日)までの10日間行われました。初日の6日には大石田町、尾花沢市の交通安全推進協議会や交通安全母の会などのメンバー約100名が参加して野川食肉センター駐車場で出発式が行われました。その後参加者らが国道347号沿いに約300メートルに連なり、プラカードやのぼりを持って交通安全を呼びかける「交通事故よさよな(347)ら人波作戦」が行われました。このほか各地区の交差点などで、小中学生の登校時間に合わせて交通安全の呼びかけが行われました。

春は新入学児童や新社会人の通勤通学が始まり事故が多くなる季節です。人も車も自転車も、交通ルールとマナーを守って事故防止に努めましょう。



## 子どもたちの交通安全を願って

**ト** ヨタライン株式会社(齋藤和博会長)さんが4月5日(木)に通学用黄色帽子108個を布川教育長に寄贈しました。これは町内の子ども達に通学時によく目立つ黄色の帽子かぶってもらい、子どもが関係する交通事故を防ごうと、運送業を営むトヨタラインさんが自社の交通事故防止の啓発も兼ねて毎年寄贈しているもので、今年で18回目の取り組みとなります。

寄贈された帽子は各小学校で7日(土)に行われた入学式にあわせて新1年生に配られました。毎年、大変ありがとうございます。



## 火災を防げ!

**消** 防団員らが火の用心を呼びかける春の火災予防運動が4月9日(月)から22日(日)までの2週間にわたり行われました。初日の9日には役場正面玄関で春季火災予防運動キャラバンの出発式が行われ、三浦清孝団長をはじめ町消防団員や尾花沢市消防本部の職員、町職員などあわせて約40名が参加しました。

出発式では三浦団長が「春は空気が乾燥して野火など火災が起こりやすくなるので、しっかり防火の啓発活動を行っていききたい」と決意を話しました。その後団員らは各班の車両に乗り込み、各地区で防火標語のビラ配って防火を呼びかけていました。



## 食をテーマに協力隊交流事業

**友** 好交流協定を締結している宮城県涌谷町の地域おこし協力隊と町の協力隊の交流イベント「わくやキッチン」が4月7日(土)、8日(日)の2日間、大石田駅前交流拠点「KOE no KURA」で行われ町民や観光客に両町の食材を使った飲食メニューがふるまわれました。

メニューは涌谷町の協力隊員丹治菜緒さんが考案したもので、涌谷町産玄米食専用米「金のいぶぎ」の米粉と大石田産そば粉を使った生地に、涌谷町の桜や小ねぎと大石田町の自然薯やペそら漬をのせて焼いた「絆ピザ」、涌谷町の郷土料理が味わえる「わくや御膳」など7品が提供されました。会場には涌谷町の風景写真やつるし雛などが飾られ、多くの方が涌谷町の文化にふれる機会となりました。



あつという間に完売となった「わくや御膳」。金のいぶぎの玄米ご飯は香ばしく食感もよいと好評でした。

